

筋機能矯正「マイオブレース®」の取り組みによる スタッフの意識変化について

小石剛, 桑原茂久*, 金山徳和**, 木下尚樹*** こいし・こども矯正歯科, 医)くわばら歯科医院*, はあもす歯科こども歯科クリニック**, 木下歯科***

【背景・目的】

歯列不正や口腔機能発達不全について注目され治療ニーズが高まっており、これらは小児歯科の新たな課題であるといえる。しかし口腔機能発達不全への対処は容易ではなく診療時間やスタッフの協力が不可欠であり、かつ効果のある指導や訓練を行うことは大変難しい。

だが新たなニーズや課題に対して、スタッフと共に意識を高めやりがいをもち取り組むことは、治療の継続と発展のために大変重要なことである。

そのため口腔機能発達不全の改善に取り組むスタッフに対して、取り組みの意識ややりがいのついて、アンケート調査を行った。

マイオブレース®システムについて

小児期において、歯列不正およびその要因である口腔機能を、アクティビティ(図1)と呼ばれるMFTと、マイオブレース®(図2)と呼ばれるシリコン製のマウスピース型装置によって改善する治療方法である。

評価法や治療手順などが明確に定められ、指導の再現性や効果を高める工夫がされている。

そのためスタッフが主体的かつ効率的に取り組むことが可能である。



図1：アクティビティ



図2：マイオブレース®

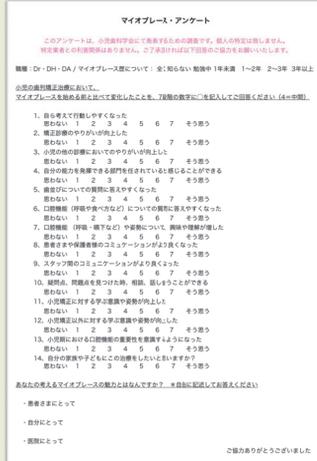


図3：アンケート

【対象・方法】

マイオブレース®システムの取り組みによる、診療や口腔機能に対する意識ややりがいの変化などを評価するために、すでに同システムに取り組む歯科医師およびスタッフ152名に対し7段階のアンケート(図3)調査を行い、正しく回答された149名について調べた。解析はt検定および重回帰分析を用いた。

【結果】

①全回答において平均値(3.5)を上回る回答を得た(表1)。

また経験年数が多いほど意識ややりがいが向上していた(表2)。



表1：回答平均値



表2：経験年数ごとの回答平均値

②「小児期における口腔機能の重要性を意識するようになった(設問13)」,その要因といえる項目は、

- ・自ら考えて行動しやすくなった(設問1)
- ・小児の他の診療においてやりがいが向上した(設問3)
- ・患者様や保護者様のコミュニケーションがより良くなった(設問8)
- ・自分の家族や子どもにこの矯正をしたいと思えますか(設問14)

であった。

【まとめ・考察】

マイオブレース®システムに取り組むことで以前の小児の矯正治療と比べて、診療のやりがい、患者や保護者またスタッフ間のコミュニケーション、口腔機能に対する意識の向上が示された。

さらに経験年数が多いほど向上したことは、治療による歯列や口腔機能の改善結果も良好であることを示すと考える。

マイオブレース®システムの取り組みは、

小児歯科の新たな課題である歯列不正や口腔機能発達不全に対するスタッフの意識ややりがいを向上させ、口腔機能に対する治療の継続性と発展性を期待することができる

と考える。

(公社)日本小児歯科学会
第48回学術大会
利益相反(COI)開示
2020年5月16日
筆頭発表者氏名：小石剛
本議題に関して、発表者の開示すべき
利益相反状態はありません。